

## 令和6年度国債発行予定額

### <発行根拠法別発行額>

(単位：億円)

区 分	令和5年度		令和6年度		
	当初 (a)	当初 (b)	当初(変更後) (c)		
				(c)-(a)	(c)-(b)
新規国債	356,230	349,490	354,490	▲ 1,740	5,000
建設国債	65,580	65,790	65,790	210	—
特例国債	290,650	283,700	288,700	▲ 1,950	5,000
復興債	998	1,461	1,461	463	—
GX経済移行債	5,061	6,633	6,633	1,571	—
子ども特例債	—	2,219	2,219	2,219	—
財投債	120,000	100,000	100,000	▲ 20,000	—
借換債	1,575,513	1,355,154	1,355,154	▲ 220,360	—
国債発行総額	2,057,803	1,814,956	1,819,956	▲ 237,847	5,000

### <消化方式別発行額>

(単位：億円)

区 分	令和5年度		令和6年度		
	当初 (a)	当初 (b)	当初(変更後) (c)		
				(c)-(a)	(c)-(b)
カレンダーベース 市中発行額	1,903,000	1,710,000	1,710,000	▲ 193,000	—
第Ⅱ非価格 競争入札等	69,630	52,650	52,650	▲ 16,980	—
年度間調整分	30,173	306	5,306	▲ 24,867	5,000
市中発行分 計	2,002,803	1,762,956	1,767,956	▲ 234,847	5,000
個人向け販売分	35,000	35,000	35,000	—	—
公的部門(日銀乗換)	20,000	17,000	17,000	▲ 3,000	—
合 計	2,057,803	1,814,956	1,819,956	▲ 237,847	5,000

※1 令和6年度の市中からの買入消却については、市場の状況や市場参加者との意見交換も踏まえ、必要に応じて実施する。

※2 令和6年度における前倒債の発行限度額は44.5兆円(変更前は45兆円)。

(注1) 計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額とは、あらかじめ額を定めた入札により定期的に発行する国債の4月から翌年3月までの発行予定額(額面)の総額をいう。

(注3) 第Ⅱ非価格競争入札とは、価格競争入札における加重平均価格等を発行価格とする、価格競争入札等の結果公表後に実施される国債市場特別参加者向けの入札をいう(価格競争入札等における各国債市場特別参加者の落札額の10%を上限)。令和6年度の第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債(40年債、30年債、20年債、10年債、5年債及び2年債)のカレンダーベース市中発行額の4.5%を計上している。第Ⅱ非価格競争入札等として、第Ⅱ非価格競争入札に係る発行予定額のほか、カレンダーベース市中発行額と実際の発行収入金との差額の見込みを計上している。

(注4) 年度間調整分とは、前倒債の発行や出納整理期間発行を通じた、前年度及び後年度との調整分をいう。

(注5) 子ども特例債(子ども・子育て支援特例公債)は、子ども・子育て政策の抜本的な強化に当たり、令和10年度にかけて安定財源を確保するまでの間に財源不足が生じないよう、必要に応じ、つなぎとして発行される。